

## 自然環境と人間生活の関わり

地域資源マネジメント研究科 川村 教一

**キーワード** 地球科学、教育学、文化と自然科学

### 研究概要

地域の価値の再発見に関する研究を行っている。研究の視点は、主として地球科学、教育学、文理融合分野である。

1. 地球科学分野では、平野の地下地質、瀬戸内海の海底地質を対象に、広域火山灰対比、動物化石群集の分析などの方法により、地層の年代決定、環境復元を行ってきた。
2. 教育学では、初等～中等教育レベルにおいては教科教育学(理科あるいは科学教育)に軸足を置き、教材開発、指導法開発、児童生徒の自然認識の実態調査に取り組んできた。これらに関連して、防災教育(自然災害)に関する教育実践研究にも取り組んできた。また、地域資源の開発に取り組む人材開発のために、高等教育(大学基礎教育および教員免許状更新講習)の教育実践研究にも取り組んできた。これらに関連して、自然科学を主題としたコミュニケーションや資質・能力開発法にも関心を持っている。
3. 自然科学と文化に関する研究は新しい取り組みである。最近では地形・地質環境と山岳霊場の関係を調査しており、自然環境と民俗宗教の相互作用の実態を明らかにしたいと考えている。その他に、地域の石材の流通と人間生活の関係を明らかにするための、自然科学的調査に関心を持っている。

### アピールポイント

文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)受賞、日本第四紀学会論文賞、日本地学教育学会優秀実践論文賞ほか受賞多数。

中央教育審議会ワーキンググループ委員、文部科学省高等学校学習指導要領編集協力者(理科)、地学オリンピック日本委員会理事長、日本地学教育学会副会長、秋田県政策審議会委員ほか国・地方公共団体の委員経験多数。放送大学学習センター面接授業講師ほか、社会教育経験豊富。

### 応用分野

・地球科学(地域地質、第四紀) ・教育評価 ・学校教育支援 ・地域資源開発(自然物) ・文理融合領域(自然科学と文化)